

ex11-3.c

関数 `sqsum()` は、2つの `double` 型の値 `$a`, `$b` を引数として受け取ると $a^2 + b^2$ の値を `double` 型として返す関数である。関数 `sqsum()` を定義しなさい。また、2つの実数値 `$x`, `$y` を入力すると、この `sqsum()` を用いて $\sqrt{x^2+y^2}$ の値を計算し出力するプログラム **ex11-3.c** を作成し、`kiso2` コマンドを用いて提出しなさい。ただし、実数値 `$x`, `$y` の入力と計算結果の出力は繰り返し行えるものとし、`$x`, `$y` 両方に 0 が入力されるとプログラムは「終了します」と出力してから終了するものとする。

実行例：

```
t190900@s01cd0542-160:~/kiso2-2019/ex11$ ./ex11-3
x y? 1 1
1.414214
x y? -1 -1
1.414214
x y? 2 3
3.605551
x y? 0 9
9.000000
x y? 9 0
9.000000
x y? 12.7 3.1
13.072873
x y? 0 0
終了します。
```

ex10-8.c で定義した関数 `pexit()` が再利用できます。

From:

<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/> - **www-slab.math**

Permanent link:

<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/lecture/kiso2/ex/ex11-3.c>



Last update: **2019/11/29 16:05**